



令和8年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 特許庁長官表彰

知財活用企業(意匠)

トヨタ自動車株式会社

社長 執行役員 近 健太

企業概要

<https://global.toyota/jp/company/profile/overview/>

所在地：愛知県豊田市トヨタ町1番地
創立：1937年
資本金：635,400百万円
従業員：71,515人
事業概要：自動車の生産・販売



受賞のポイント

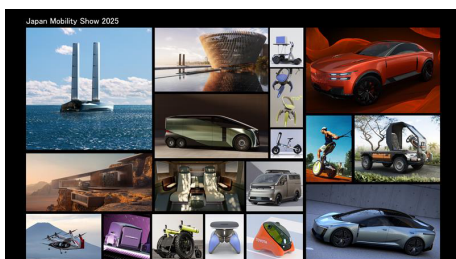
- ①世界市場での自社製品の認知度向上を図るため、デザインの一貫性を重視。トヨタブランドの「ハンマーヘッド」やレクサスブランドの「スピンドルボディ」など、ブランドごとにデザインアイデンティティを設定し、一貫性のあるデザイン開発を行う。デザインアイデンティティを元にバリエーションを複数創作し、他社との差別化と価値向上を目指し、これを支えるために意匠制度（関連意匠、部分意匠）を効果的に活用。
- ②製品のデザインは、意匠権に加え、デザイン上、機能的な構成は特許出願、ブランドのデザインアイデンティティは商標出願を実施。特許出願担当者は、検討時に意匠出願もあわせて検討し、各種権利を組み合わせることで、知財の保護強化を図っている。
- ③未来のモビリティ社会の実現に向け、経営施策と連動した知的財産活動を実施。電動車や電池開発をはじめとする「カーボンニュートラル」や自動運転技術に係る「ソフトウェアとコネクティッド」領域へ重点的にリソースを配分し、意匠を含む知的財産権の取得・活用を強化。



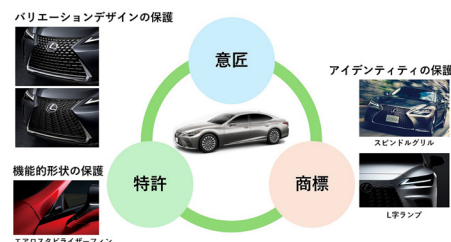
トヨタブランドにおけるハンマーヘッドデザイン



レクサスブランドにおけるスピンドルボディデザイン



未来のモビリティ社会の実現に向けた活動



意匠、特許、商標の知財 MIX 活動